

○ お客様の財産を、
お預かりしている
という意識。

スウェーデンハウスに長く快適に暮らしていただきたい。これは、お客様に初めてお会いしたときから、お引渡しの後まで末永く続く思いです。

そして、その思いを住まいという形へと昇華させるのが、ほかでもない「施工」です。カタログなどでご紹介しているスウェーデンハウス標準の高性能が正しく発揮され、お住まいいただく全ての方に快適で安心な暮らしをお届けするために、施工段階での確かな技術と管理体制はなくてはならないものです。



高性能を守りぬく。 快適を造り上げる。 家づくりのクライマックス、 施工管理のお話。

施工を通じて、スウェーデンハウスが強く意識し大切にしていること。それは「住まいはお客様の大切な財産。お引渡しの日まで、その財産をお預かりしている」という気持ちです。少しずつ完成に近づいてゆく新しい我が家。その手順ひとつひとつに間違いがなく、家としてベストの性能を発揮できる状態が保たれていること。それはハウスメーカーとして当然果たすべき責任であり、お客様に安心して家づくりをお任せいただくために不可欠な姿勢だとスウェーデンハウスは考えています。

○ お引渡しの日まで、
家を大切に
守りぬくこと。

スウェーデンハウスは上棟まで、1階床組↓1階壁組↓2階床組↓2階壁組↓小屋組み(屋根組み)の順番で工事が進みます。この工程を、建て方工事^{たか}といい、期間は平均で一週間ほど。最も雨に対して気をつけたい工程です。

私たちは木質パネルや断熱材(グラスウール)が雨に当たらないよ

う、その工程ごとに養生を行います。まず1階・2階の床面は、それぞれ全面を床養生用のフィルムで覆います。そして小屋組み(屋根組み)以降の外装材施工時には透湿防水シートを巻きつけます。さらに建て方工事^{たか}中は毎日の作業終了時に、床や屋根をブルーシートで覆います。こうして建設中の建物が雨に当たらないように努めています。北海道以外の地域は梅雨が長く、台風の接近も多いために、1階壁組・2階壁組のそれぞれの段階でも透湿防水シートを施工することで雨対策を強化していきます。

こうした養生は、お客様の住まいを大切に守ると共に、スウェーデンの現地自社工場で作られた構造部材のクオリティを守りぬく、こだわりの表れでもあります。

○ プロとして
信頼していただける
施工を行うために。

スウェーデンハウスでは、独自に設けた検査士資格を持つ担当者^{たか}が、着工前から竣工までの工程で

多重的なチェックを行うことで施工品質を確保しています。こうしたチェックの記録は、お引渡し後のアフターメンテナンスにも役立てられます。また日々の品質向上・作業性向上のため、現場の声をフィードバック。改善点は、施工を行う指定工務店をはじめ建築に関わる全スタッフが、定期的に研修を受けることで共有されています。加えて建築現場でプレカット部材を使用することによる産業廃棄物の低減といった環境配慮にも努めています。

スウェーデンハウスでは家が完成した後、全棟でC値^{*}を実測し高い気密性能を確認してからお引渡ししています。その高い性能を支えているのもこうした施工管理体制です。確かな技術と管理体制によって高性能を実現し、末永く安心して快適にお住まいいただける家をご提供すること。これは30年間変わらず、これからも変わることの無いスウェーデンハウスの思いです。そして施工に関わる全てのスタッフにとってプロとしての誇りであり、何物にも代えがたい喜びでもあるのです。

*気密性能を表すC値(相当隙間面積)を1邸ごとに実測します。C値は高性能住宅であることを確認するための、重要な指標です。